

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メル・ブックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目 次 ◆
- 活動報告
- お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

●ゆるやかなネットワーク・ユネスコ食堂!!● ～放課後や長期休みの子どもたちの居場所「ぴあぴあルーム」の応援隊～

箕面ユネスコ協会は発足依頼、被災地の支援活動をはじめとする多くの活動に、これまでもゆるやかなネットワークで協働してきました。今年度もNPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝や他団体と連携し、地域の子どもたちを対象に教育支援、居場所援等の地域協働型の包括的教育支援事業「てらこやち」をスタートさせました。



今回は、らいとぴあ21の、子どもサポート事業である「こどもたちの放課後の居場所・ぴあぴあルーム」へ来る子どもたちの夏休みのお昼の作りに、箕面ユネスコメンバーが腕を振りました。

らいとぴあ21では、てらこやちやこどもたちの放課後の居場所・ぴあぴあルーム以外にも、長期休暇中の子ども食堂、電車など公共交通を利用する社会体験事業などさまざまな体験を通じ、参加する子どもたちが元気に楽しい毎日過ごせるよう子どもサポート事業を実施しています。



8月26日に、らいとぴあ21にて、ぴあぴあ食堂のお手伝いに行ってきました。献立は・煮込みハンバーグ（ブロッコリー、人参のグラッセ、パスタ添え）・具だくさんのコンソメスープです。地域の方よりいただいた梨のデザートもついて、栄養もボリュームも満点に！

おかわり3回の強者も出るほど大好評で、子どもたちの『いただきます。』『ごちそうさま。』『ありがとう。』の声に癒された素敵な1日になりました。（森明 ミドリ）



地域共同型包括教育支援事業 箕面ユネスコ協会 U-Sumile てらこやち 第2回運営委員会開催!

9月13日、「U-Sumile 事業：こーち」の第2回運営会議が、らいとぴあ21で開催されました。

・てらこやちの現在と今後の見通し ・てらこやちに参加する児童生徒の学校での様子などを議題とし、運営委員である小中学校や校長先生や、担当の先生と意見交換ができました。さらに、児童生徒のこーちとして直接かかわる大学生の報告もあり、具体的な学習支援等の状況や子どもたちの現状がよくわかりました。

今回、日本ユネスコ協会連盟事務局 教育と社会課題支援部 仁藤 里香 課長が参加されました。

てらこやち第二回運営会議をおえて (NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 谷本沙栄子)

まず、北芝地域における学習支援の経過についてご説明させていただきました。

1990年代からはじまった北芝解放塾や、らいとぴあ21における学習支援事業を経て、4年前に「てらこやち」事業が始まりました。開始にあたっては、北芝地域の保護者から「うちの子勉強できひんけど、わたしは教えられへん。勉強おしえてほしい。」といった声がある一方で、家庭背景や発達特性などから学習に向かうことが難しい子どもたちの姿や、学校での授業に集中しにくい子どもたちへの個別対応の限界もありました。そこで当団体と保護者、近隣の小中学校、北芝団地利用者組合、箕面市が協同して学習支援事業「てらこやち」を実施することとなりました。「てらこやち」がめざすのは、子どもたちが「ちょっとやってもええかな」と学びに後ろ向きではない状態になることです。



現在は、週6枠の中で小学校3年生から中学校3年生までの16

名が参加、大学生の学習サポーター10名（登録18名）で運営しています。

今年度から日本ユネスコ協会連盟様より助成をいただき、Uスマイル事業の中で、次のような新たな仕組みも取り入れて運営を続けていくこととなりました。

- ① 助成終了後の安定的運営をめざして、保護者より協力金の徴収を開始
- ② 小学校と連携した学習プリント「寺子屋らんど」の導入
- ③ 多様な子どものニーズに寄り添うオンライン学習教材「e-board」の導入

会議には学習サポーターも参加し、てらこやちに関わるようになって、自分自身の変化、子どもの変化について「教科書の中だけではない、実際の教育現場で何が起きているのか理解できる」「てらこやちに参加することで、地域の取り組みに参画していると感じる」「はじめは緊張したけど、続けるうちに

子どもが家のことや、友だちのことを話してくれるようになった」「学習に向き合うには信頼関係が大事だと分かった」など、大学生にとっても、子どもたちにとっても、学びと気づきの場になっていることがうかがえます。一方で「今、学校でどこを学んでいるのかが分からない」など学習を進めていくうえでの困り感もみえ、学習サポーターが不安なく関わるができる仕組みについては課題があると感じました。

こうしたことを受け、①子どもたちの学習の到達点や目標（学校で何ができていて、てらこやちでは何をすべきか）を学校と検討し、学習サポーターに共有すること。②食事付きの学習の場を設定し、保護者に様子を見に来てもらうなかで学習状況のフィードバックなど保護者とコミュニケーションがとれる機会をつくること。③個別学習から小集団学習への移行をめざし、子どもの参加者を増やしていくこと。④学習サポーターの悩みややりがいを共有できる場、研修の機会をつくること。⑤運営サポーターの導入など、学習サポーターをサポートする体制の強化を図ることを今後の課題と展望としていきます。





●箕面市立南小学校 5年生● Action! ~ともに生きる~世界と出会おう

1学期には、SDGsについて調べ、身近なところから自分にできることを考えた子どもたち。2学期のテーマは「世界と出会おう」です。子どもたちが接する機会の少ない文化に触れてほしい、自分自身の環境を振り返りながら、課題解決に向けた小さな一歩を踏み出してほしい…そんな願いを込めた協働学習の様子を紹介します。

ネパールとの出会い

8月30日、坂ロー美さんと山田佑加さんが、ネパールの暮らし、自然、ボランティアの経験を伝えました。



きれいな布を首にかけて、「ようこそ」という歓迎の気持ちを込めてくれるネパールの人たち。額に塗ってくれる「ティカ」も紹介しました



食べ物のこと、大切な牛ややぎのこと、学校のこと、みんなで作った階段のこと…。たくさん話を子どもたちは熱心に聞いてくれました



最後は、ネパールの子もたちとの出会いを予告。質問したいことを考えてもらい、「ナマステ～」の練習もたっぷりしました

ネパールの子もたちとオンラインミーティング

9月27日、ネパールの子もたちとのオンライン授業を行いました。電波の不安定さ、停電の心配がありましたが、無事に楽しい時間を過ごすことができました。笑顔で交流してくれた両校の子もたち、みんなありがとう！



始めは音声がちぎれがちで、どきどき。無事に会えて、わたしたちも、子どもたちも、先生たちも、笑顔で「ナマステ～」



イントロダクションとして、「南中ソーラン」を有志メンバーが元気いっぱいに踊ってくれました。日本文化に触れてもらえました



日本からの質問に、次々にネパールの子もたちがはきはきと答えてくれます。どの子もナマステ～と笑顔がすてきでした



最後にネパールの子もたちの踊りを見せてもらって、ナマステ～ダンネバード～！元気な挨拶を交わすみんな、世界が近づいた様子です

♡やりとりから一部紹介します♡

◇どんなアニメ（漫画も）が人気ですか？

- ・スパイダーマン、ムーミン、ポケモン、しんちゃん…知っている名前に南小メンバーは盛り上がりました！

◇人気のスポーツは何ですか？

- ・フットボール、クリケット、水泳、コテンドー…聞きなれないスポーツもありました。みんな調べてみてね。

ネパールからも質問が♪

◆どんな課外授業がありますか？→レイクスクール！！！！

◆日本の人は規律正しいと聞きますが real ですか？

→南小の子もたちは yes! no! で紛糾。電車バスの正確さの説明で、ネパールのみなさんも納得されたようです。

(大濱 淳子)

共に つながり・知る・学ぶ・動く！各地のブロック研究大会へ！

● 四国ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 四国中央

9月3日、愛媛県四国中央市で開催された四国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 四国中央に四国ブロック青年評議員として参加してきました。四国ブロックの各ユネスコ協会の方とは青年会員の活動状況について情報を集めるためにメールでやり取りはしていましたが、実際に会うのは初めてでした。昼食も兼ねた代表者会議でご挨拶し、連盟報告として、四国ブロックと箕面における青年会員の活動について10分ほど報告しました。四国中央市は、紙のまちということで水引体験や若手手漉き和紙職人である大西満王さんのトークショーなど、紙に関する内容が多く大変充実した研究会でした。四国ブロック青年会員の最新の状況も知ることができ、私にとっても有意義なプロ研となりました。青年評議員としても箕面ユネスコ協会の青年会員としてもこれからも全力で頑張っていこうと思います。

(川本 実弥)

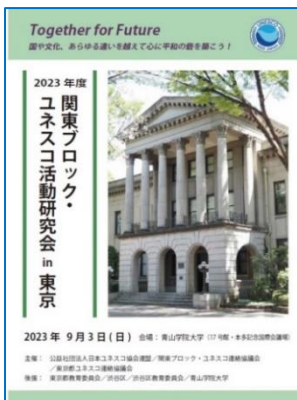


● 関東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 東京

9月3日、青山学院大学で開催された、関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京に参加してきました。

分科会での東京海洋大学の発表は、子どもたちに未利用魚を使った魚拓体験などを通して環境や流通を学ぶもので、私自身が未利用魚そのものを聞いたことがなく、発想が新鮮で率直に面白いと思いました。さらに、蓮田・白岡地方ユネスコ協会の江原さんの発表は、学校支援活動が、子どもたちのキャリア教育、次世代の担い手の育成につながるという内容であり、それは箕面ユネスコが今まで活動してきたものを、正に後押ししてくれていると感じました。今後の活動に、ワクワクと新たな繋がりや広がりを期待させてくれる研究会でした。

(花田 純子)



★箕面市立萱野小学校の4年生からお手紙が届きました★



9月13日箕面市立萱野小学校で「世界を知る」授業でネパールと出会ってもらいました。ネパールと自分たちの身近な生活の違いを一杯見つけてもらいましたその子どもたちの感想です。

坂口 さんへ
昨日はありがとうございました。
私は「ヨガを習ってるのですがヨガでも「ナステ」と言います。坂口さんの話を聞いてユネスコ、てすごいなと思いました！これから、がんばってください！おうえんしてます！
dunne vaard
4年1組

坂口 さんへ
今回はネパールの話をしてくれてありがとうございました。わたしは日本のようにペンキがけできない子どもが世界にいることを知りました自分でも調べてみたいな思いました。ほんとうにありがとうございました。
4年4組

坂口 さんへ
ネパールにいきななと思いましたが、お手紙がたいたいです。これからもユネスコの書きせんががきななをききたいです。④の昔ながらの花はありますか？何さいからユネスコに入れませんか？



お知らせ
今後の予定

- 10月7日/お宝人權祭り(らいとぴあ)
- 10月22日23日/箕面ユネスコ東北スタディツアー
- 10月28日 NPO フェスタ/(市民活動センター)
- 11月12日/近畿ブロック・ユネスコ活動研究会 in 飛鳥橿原